



目標

- 日常生活に必要な国語について、その特性を理解し適切に使うことができるようにする。
- 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学習内容

		1・2年生	3・4年生	5・6年生
知識・技能	言語に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「は」「へ」「を」やのぼす音、小さい「っ」「ゅ」などを正しく書く ・句読点の打ち方やかぎ(「」)の使い方を理解し使う ・平仮名や片仮名を読んで書く ・主語と述語の関係を理解する ・身近なことを表す語句を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名、改行の仕方を理解し句読点を適切に使って書く ・ローマ字を読み、書く ・修飾語、指示語、接続語を理解する ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いを理解する ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く ・敬語を理解し、使い慣れる ・比喩や反復などの表現の工夫をする ・思考に関わる語句を増やす
	書かすに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書く ・点画の書き方や文字の形に注し、筆順に従って丁寧に書く ・点画の接し方や交わり方、長短や方向に注意し、正しく書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の組み立て方を理解し形を整えて書く ・漢字や仮名の大きさや配列に注意して書く ・毛筆を使用して点画の書き方、筆圧などに注意して書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙全体との文字の大きさや配列などを考えて書く ・書く速さを意識して書く ・毛筆の穂先の動きと点画のつながりを意識して書く ・目的に応じて使う筆記具を選ぶ
思考・判断・表現	話す・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・行動したことや経験したことに基づいて、順序よく話す ・声の大きさや速さなどを工夫して話す ・大切なことを落とさないよう集中して聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由や事例などを挙げながら話の中心を明確にして話す ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫する ・必要なことを記録、質問したりしながら聞く ・意見の共通点や相違点を考えながら話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と感想、意見とを区別するなど話の構成を考えて話す ・資料を活用するなど、考えが伝わる表現の仕方を工夫する ・話し手の意図を考えて聞く ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合う
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを明確にし、順序に沿って書く ・語と語、文と文の続き方に気を付けてかく ・読み返す習慣を付け、間違いを正したり、文章を確かめたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄を選んだり比べたりして伝えたいことを明確に書く ・段落をつくりながら書く ・理由や事例との関係を明確にして書く ・間違いを正したり、確かめたりして文章を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道の通った文章になるよう構成や展開を考えて書く ・目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする ・事実と感想、意見を区別し書く ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして書く
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・順序を考えながら内容をだまかに理解する ・場面の様子や登場人物の行動を想像しながら読む ・大切な言葉や文を考えながら読む ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちなどを、叙述を基に捉えて読む ・中心と語や文を見付けて要約する ・登場人物の気持ちの変化や性格を場面移り変わりと結び付けて想像して読む ・幅広く読書に親しみ、知識や情報を得ることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉えて要旨を把握して読む ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基に捉えて読む ・必要な情報を見付けたり、論の進め方を考えたりしながら読む ・具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読む

授業の工夫

●わかる授業の展開●

基礎・基本を確実に身に付けさせるために学習内容を明確にした授業を行います。

●表現活動の工夫●

相手や目的を意識した話すこと、聞くこと、書くことの学習を行います。



生きて働く国語の力を身に付ける



●読みの学習への支援●

音読や詩の暗唱に取り組みます。朝の読書の時間も活用し、読むことへの意欲を高めます。

●漢字学習の定着●

書くことや読むことを通して身に付けます。漢字ドリル等を活用しながら学習もします。

評価について

本校は、次の4点について評価を行っています。

○知識及び技能

言葉の使い方や漢字、音読などを中心に評価を行います。

○思考力・判断力・表現力等

「話す・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を中心に評価を行います。

○主体的に学習に取り組む態度

言葉が持つ良さを感じたり深めたりすることや、国語の能力をさらに高めようとする態度などを中心に評価を行います。

○書写

書写の時間や日常生活で、文字を正しく整えているかを中心に評価します。

《評価の仕方》

授業の様子、ノート、ワークシート、作品、音読の様子、話し方、単元テストなど

保護者のみなさんへ

○使用する国語のノート・漢字ノートは、発達段階に考慮して学年で指定しています。指定したノートをご用意ください。

○使用する鉛筆も、発達段階に考慮して指定しています。指定した鉛筆をご用意ください。また、硬筆では4B～6Bを使用します。筆圧の関係で、シャープペンシルの使用は行っていません。

○毎日、音読や漢字ドリルを宿題に出しています。ぜひ御家庭で、音読を聞いてあげたり、漢字練習の様子を見てあげたりしてください。音読カードへの評価の記入もお願いいたします。詩の暗唱も聞いてあげてください。